

8.トラブルシューティング

■全く動作しない

以下の原因が考えられます。

- ・受信機が正しくパソコンに接続されていない。→接続を確認してください。
- ・受信機とマウスのIDが合っていない。→IDを再設定してください。
- ・パソコンに認識されていない。→一度パソコンを再起動してください。
- ・パソコンのUSBポートが使用可能になっていない。→使用できるよう設定してください。(設定方法はパソコンメーカーにお尋ねください。)

■時々マウスが動作しなくなる(8分程度使用していないと動作しなくなる)

マウスは、消費電力を抑えるために、動作をやめてから約8分でスリープモード3になります。このモードになりますと、マウスを動かしてもカーソルは動きません。左右のクリックボタンまたはホイールボタンをクリックしてください。動作が再開されます。

■動作がおかしい

他の電波を発生する機器と混信している可能性があります。IDを再設定してください。

■動作が悪くなった

電池の残量が少なくなると、[お知らせランプ]が点滅し、動作が悪くなります。新しいアルカリ乾電池(単三形)と交換してください。

■電池を交換したら動かなくなった

受信機とマウスのIDが合っていない場合があります。IDを再設定してください。また、電池の向きが間違っていないか、再度確認してください。電池は必ず新しい単三形アルカリ乾電池と交換してください。

※今までお使いのマウスで、そのマウスオリジナルのドライバやユーティリティなどを設定してご使用の場合、あらかじめアンインストールしてください。当マウスが正常に動作しない場合があります。アンインストールの方法は、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

※パソコンの機種、環境によりましては、対応できない場合があります。

動作環境と仕様

■動作環境

対応機種:USBポートを搭載したDOS/V互換機とApple Macシリーズ

対応OS:Windows8/Windows7/Vista/XP(SP1以降)/Mac OSX(10.4以降)

■仕様

無線周波数:2.4GHz

コネクター:USB Aタイプ

分解能:1000/1500/2000dpi

外形寸法:マウス 幅65×高さ41.5×奥行105mm

レシーバー 約幅19×高さ14.5×奥行6.6mm

マウス質量:マウス75±5g(電池含まず)),レシーバー 約2g

動作温度/湿度:5℃～40℃/～85%RH(ただし結露ない場合)

保存温度/湿度:－10℃～55℃/～85%RH(ただし結露ない場合)

電源:マウス/単三形アルカリ乾電池1.5V

レシーバー/USBバスパワー

■アルカリ乾電池使用時間の目安(単三形乾電池1本)

連続動作時間:約330時間

連続待機時間:約450日

使用可能時間:約7ヶ月(1日8時間パソコンを操作中25%をマウスに割り当てると想定する場合)

※弊社のテスト値であり、保証値ではありません。

■本製品は、マウスとレシーバーの送受信に、2.4GHz帯の周波数を使用しています。動作可能距離は環境により異なります。磁性体(スチールデスクなど)の上では、約2mの距離で、非磁性体(木製の机など)の上では、約10mの距離で動作することが確認されています。



5ボタン ワイヤレスIRマウス 取扱説明書

PC-SKMWIR51 K
01-3576
PC-SKMWIR51 S
01-3577

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくご使用ください。

この説明書は、ご使用になる方が大切に保管してください。

保証書付き

本説明書に記載の社名および製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意 必ずお守りください

■人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分し、
■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下記は図記号の一部です)

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

 禁止	してはいけない内容です。
 指示	実行しなければならない内容です。

 警告			
 手を触れない	●雷がなっているときに、本製品やレシーバーに触れない。 落雷により感電する恐れがあります。	 必ず守る	●異常を感じたら直ちに仕様を中止する 製品は電気で動作しておりますので、発火の危険があります。 万一煙が出たり、異臭がしたりした場合は、本製品および接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。 ●本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負い兼ねます。
 分解禁止	●本製品のカバーを開けたり、分解・改造しない。 故障や感電・思わぬけがををするおそれがあります。		
 禁止	●濡れた手で本製品やレシーバーに触れない。 本製品がパソコンに接続されているとき、感電するおそれがあります。 ●本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにする。 感電や火災・故障の原因となることがあります。 ●本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所で使用したり、保管しない。 故障・感電の原因となることがあります。		

 注意			
 禁止	●本製品は次のようなところでは使用しない。 ・日の当たる自動車内、直射日光のあたる場所。 ・暖房器具の近くなど、高温になる場所。 ・ほこりや水分、油分などの多いところ。 ・マグネット近くなど、磁場が発生する場所。 ●製品の破損やけがを防ぐために、レシーバーユニットをパソコンに接続するときは、コネクターの向きを間違えないように確認してから差し込む。 ●本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しない。 塗装を痛めたり、故障の原因となることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。	 必ず守る	●本製品には単三アルカリ乾電池を使用し、電池交換の際は、(+) (－)を逆にしない。 ●本製品を長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、必ず本製品から電池を取り出しておく。 ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。 ●使いきった乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などの定めがあるときには、その条例に従って廃棄する。

■本製品を使用する際の注意事項

- 本製品を航空機や病院など、電波使用を禁止されている場所では使用しないでください、微弱ですが電波を使用しているため、電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼすおそれがあります。
- 本製品の光センサーは不可視光線を使用しています。IR LEDセンサーを直接見ると目が痛むことがありますので、注意してください。透明度の高いガラス、鏡面などの素材の上では、使用できない場合があります。
- 基本的なマウスの送受信動作距離は約10mですが、ご使用になる環境によっては、それより短くなる場合があります。

ご使用方法

1. 梱包内容／各部の名称

■梱包内容の確認

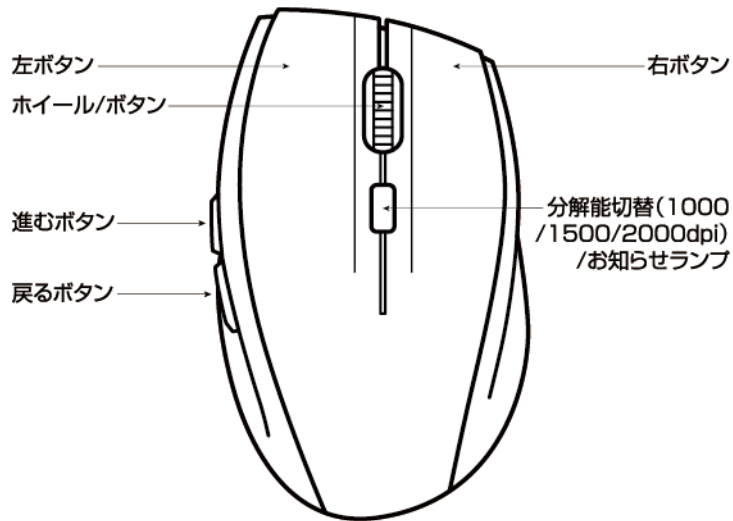
本製品には次のものが入っています。

パッケージを開封後、付属品が揃っているか確認してください。

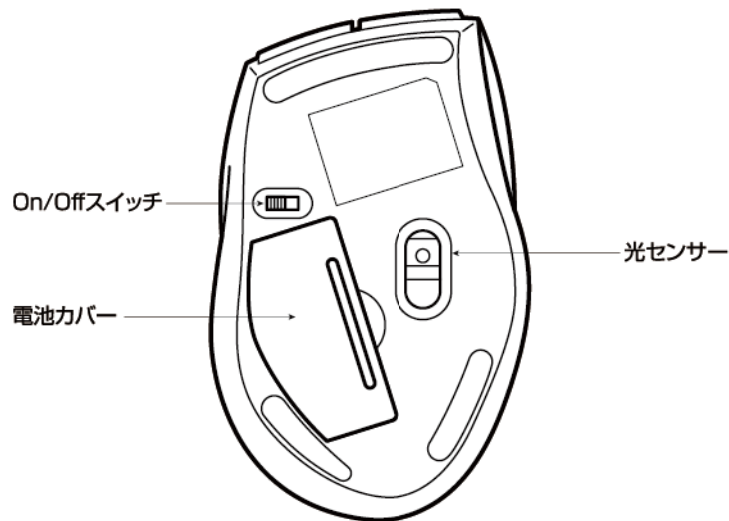
万一、不足している場合や破損している場合は、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談室までご連絡ください。

●マウス本体:1個 ●レシーバー(受信機):1個 ●単三形乾電池(テスト用):1本 ●保証書/取扱説明書

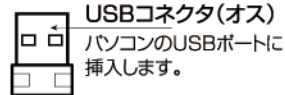
■マウス上面



■マウス裏面



■レシーバユニット



2. レシーバーの収納/電池の取り付け方

- (1) 電池カバーを開きます。
- (2) レシーバー(受信機)は、右図のように収納してください。
- (3) 電池は、(+)と(-)の向きを正しく入れてください。
- (4) 電池カバーを取り付けてください。

注意: 電池は消耗品です。電池内の電圧が低下しますと、動作が悪くなりますので、あらかじめ予備を用意し、マウスの動作が悪いたらすぐ電池を交換してください。

3. その他のボタンの説明

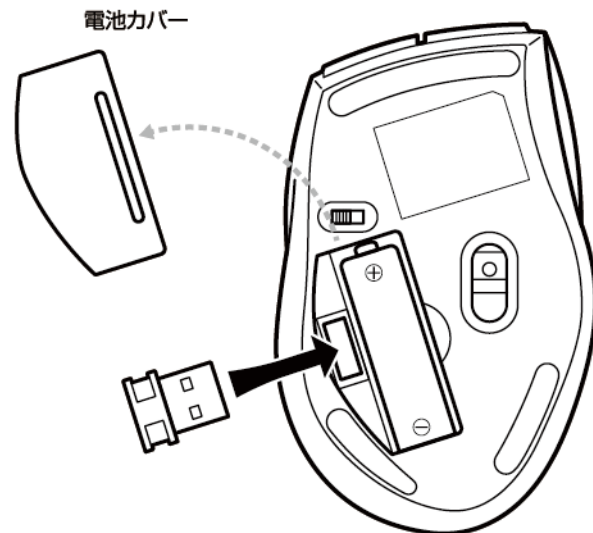
On/Offスイッチ: マウス本体電源を入(On)/切(Off)します。

進むボタン: webブラウザで「進む」操作をします。

戻るボタン: webブラウザで「戻る」操作をします。

dpi切替: 分解能を1000dpi→1500dpi→2000dpi→1000dpiに切り替えます。

(切替の時にお知らせランプが点滅する1000dpiが1回、1500dpiが2回、2000dpiが3回)



4. パソコンとの接続

電池は、(+)と(-)の向きを正しく入れてください。

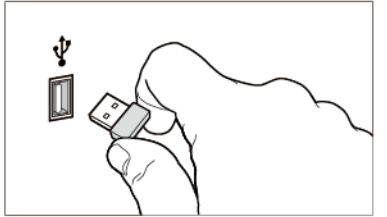
- ① コンピューターの電源を入れ、Windowsを完全に起動させます。
- ② レシーバーをパソコンのUSBポートに正しい向きで挿入してください。
- ③ ドライバーが自動的にインストールされます。
- ④ これでマウスが使用できるようになります。

■ご注意

USB-HUBを通して接続しますと使用できない場合があります。その時は、直接パソコンに接続してください。

■簡単セットアップ

レシーバーをパソコンのUSBポートに挿すだけで、利用を開始できます。ソフトウェアは不要です。



5. 製造段階で既に、マウスとレシーバーの間でIDが設定されていますので、IDを設定する必要はありません。ただし、何らかの電波障害などで動作に問題が生じた場合、以下の手順でIDを再設定してください。

[IDの再設定]

① パソコンは起動したままで、レシーバーをパソコンから一度外してからまたパソコンに挿し直してください。

② 10秒以内にマウス本体の「右ボタン」と「ホイール/ボタン」を同時に押してください。「お知らせランプ」が点滅し、再設定が完了します。

■ワイヤレスIRマウスレシーバーと共通

1つのレシーバーでワイヤレスIRマウスとキーボードを使用できるので、USBポートを犠牲にしません。対応しているIRワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード(01-3518)などを簡単に追加接続することができます。デバイスごとに異なるUSBレシーバーを使用する必要はありません。(各商品のID設定を参照してレシーバーIDを合わせてください。ただし、一部対応していない、ワイヤレスマウスがございます。)

6. 動作と省電力

■本製品は、マウスとレシーバー(受信機)の送受信に、2.4GHz帯の周波数を使用しています。動作可能距離は環境により異なります。磁性体(スチールデスクなど)の上では、約2mの距離で、非磁性体(木製の机など)の上では、約10mの距離で動作することが確認されています。

■本製品は電池で動作しますが、使用していないときは省電力となるように、3段階のスリープモードが設定されています。

スリープモード1:【動作をとめて約3秒後】

マウスを動かすだけですぐに動作が再開します。

スリープモード2:【動作をとめて約10秒後】

マウスを動かすだけですぐに動作が再開します。

スリープモード3:【動作をとめておよそ8分後】

マウスの左右のクリックボタン、またはホイールボタンをクリックしますと、動作が再開します。

■ご注意

スリープモード3になりますと、マウスを動かしてもカーソルが動きませんが、故障ではありません。

7. 電池の交換

■電池交換時期のお知らせ

パソコンと接続した後、マウス使用中に任意のキーを押しますと約14回「お知らせランプ」が点滅しますと、電池の交換時期をお知らせします。

■電池の交換

電池の向きが間違っていないか、再度確認してください。電池は必ず新しい単三形アルカリ乾電池と交換してください。